

「阪堺線への支援の中間検証結果」についての意見募集結果（概要）

<趣旨>

市では、長年市民に親しまれてきた阪堺線について、平成22年度より国からの補助金も活用し、10年間の支援を行うこととしております。

支援開始から5年目が経過し、これまでの阪堺線への支援実施による効果などについて、学識経験者※による監修のもと実施した中間検証結果について、皆様のご意見を募集しました。

※学識経験者

川勝 健志 京都市立大学公共政策学部 准教授

<意見募集期間>

平成27年9月1日（火）～10月9日（金）

<意見概要>

応募件数：13件（うち市内9件、市外4件）

分類	主な意見
利便性 向上策	<ul style="list-style-type: none">・ 堺トラムの運用体制を5両体制にできれば、運用が安定し増発も可能・ 石津川～東湊間の横揺れが激しいため、軌道の補修が必要・ 南海本線の高架化の際、浜寺公園駅と浜寺駅前間の歩道に屋根を設けて欲しい
観光 施策	<ul style="list-style-type: none">・ 阪堺線と沿線の観光施設をリンクさせて積極的にPRすべき・ 外国人を阪堺線に乗せて、堺市に誘導する・ 大阪市から堺市に来る人の流れが出来るような施策が必要・ 堺市の小学校（低学年）の活動に「阪堺線」を利用してもらう
支援の 検証方 法等	<ul style="list-style-type: none">・ 事業計画を市民によりわかりやすい形で示し、年度毎にPDCAサイクルを回していく必要がある・ 支援策の位置づけを市民によりわかりやすく説明すべき・ 中間検証は、実体を検証していない
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 阪堺電軌が自力で運営が出来るようになるまで支援を続けていただきたい・ 阪堺線活性化として、東西線（例えばJR堺市-堺東-南海堺-堺浜）を中長期計画的に取り組む・ 阪堺線への支援は特定民間会社への支援であり、行政活動の範囲を逸脱するもの